

# どこでもイエデンK

介護の現場で磨かれた電話DXとkintoneで営業戦略に！

2026年2月17日 合同プレス発表会

有限会社あんしん村グループ 代表取締役 林智之  
株式会社ネットワークレボリューション 代表取締役 門誠

# どこでもイエデン®の紹介

株式会社ネットワークレボリューション様が開発した、革新的な電話DXソリューション。

従来の電話システムとは一線を画す、完全自社開発の統合型プラットフォームで、福井に根付いたシステム。

自社開発で福井に根付く

独自技術により高精度な音声認識と  
要約を実現

パソコン1台で完結

専用機器の設置不要で導入コストを  
大幅削減

会社・固定電話に組み込める

既存の電話番号（0776）をそのまま活用可能



これをさらに改良した・・・「どこでもイエデンK」  
「K」は、介護のK、kintoneのK

# 導入のきっかけは補助金

補助金を利用した導入を予定していたが、、、中止。  
ブログでの発信や知人への紹介を通じて、  
学校事業など他業界からの引き合いあり。

↓↓↓



**「これは売れる」  
「他の業種にも必要とされる」  
と確信！**

# 現場での実証済みの効果

## 簡単操作

アプリで「電話する・切る」だけで自動要約が完成、すぐにメールが届きます

## 幅広い用途

3分から1時間半まで、申し送り・打ち合わせ・全体会議・担当者会議・面談などすべてに対応

## 外出時でも利用

病院や利用者自宅など、外出先でも利用。帰社すると作成済。

## 固定電話に

電話を自動的に要約、kintoneに取り込み済。修正で手間が半減。



**kintone AIと組み合わせることで、報告書や会議録作成の時短へ。  
実業務が50%削減でき、現場に浸透済み。**

# 介護の現場が抱える諸課題

## アナログな業務環境

介護の現場、ケアマネージャーの現場もほとんどが電話などアナログばかり

## ITリテラシーの壁

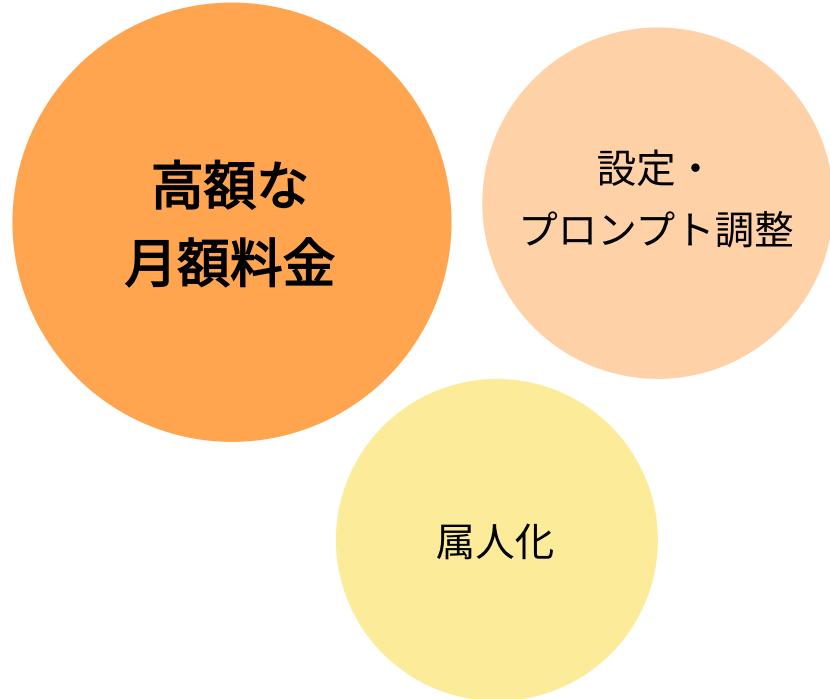
スタッフは女性が多い、ITリテラシーが高くない、新システム導入の抵抗感、

## 生成AIの使いにくさ

音声の取り込みやコピペで手間が多く結局使えない、一部の人しか使えない

**実は進んでいないDX、現場では手間が多いDX、現場に悲鳴が隠れています**

# 大手法人の電話DXが抱える問題点



## これらの問題

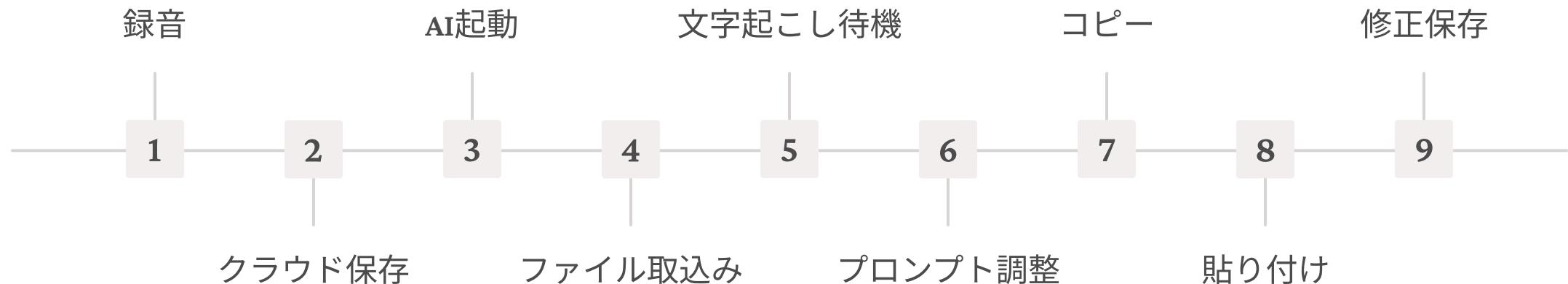
- ※ 固定電話（0776）に組み込めないから！
- ※ 自社に合っていないから！

## どこでもイエデンKの解決策

- ・固定電話に直接組み込めて手間いらず
- ・ほぼ固定の月額料金
- ・複雑な設定作業の不要
- ・属人化の防止

# 9ステップから3ステップで業務削減！

生成AIを使用する従来の方法では、9つの煩雑なステップが必要です



電話する・切る・修正

この3ステップに短縮

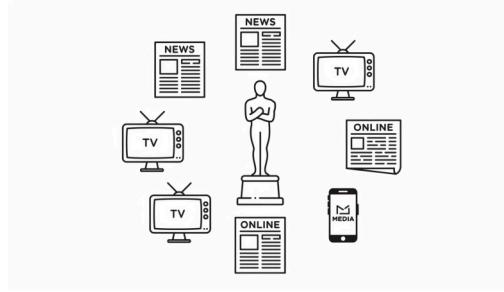
削減70%

手間と時間を削減

スマホ・タブレットのアプリで簡単操作！

業務効率が劇的に向上する画期的な電話DX

# 弊社のkintone導入でのメディア掲載歴・受賞歴・講演依頼



- ・福井県広報様・福井TV様・FBC福井放送様
- ・福井新聞様・日刊県民福井様
- ・月刊ケアマネジメント様・シルバー産業新聞様
- ・北陸総合経済様・月刊石垣様
- ・全国ワークスタイル変革大賞2025・特別賞
- ・日本ノーコード大賞・特別賞
- ・日本DX大賞・サイボウズ賞



日本DX大賞・サイボウズ賞



福井市・荒木副市長見学



日本商工会議所様・月刊石垣

その他講演依頼が5件（高知市・クラウドサービス推進機構・ITC埼玉様他）

# kintoneと組み合わせて攻めの営業へ

01

## 自社開発ハイライトプラグインで見やすく

指定キーワードを指定した色でハイライトし、重要情報を一目で把握

ご自宅の担当者会議に参加する。  
日常生活に「自分で」できたり、認知症も忘れ程度だが、短期記憶は低下している。  
今後も更中長期は継続する。  
金曜日は訪問看護<sup>19時</sup>から30分、持病が心不全や高血圧、糖尿病、大動脈弁狭窄症などがあり、経過観察している。薬は朝を中心で処方されているが、あまり飲んでおらず、認知症の薬もやめた。受診は2ヶ月後必要時に自分でいかれており、次回は12月28日木曜日、自分で行ったり、タクシーで行ったりするため、安心村の介護タクシーを頼まれる。  
血圧は高くなく、A1cも6.4、食前血糖値も119と、内服していない割に結果は良好。認知症対応のため拍手歓声神経クリニックでドネペジルが処方されたが、以来受診もせず、内服もしていない。昼食時薬はない。  
福祉用具は玄関の手すりのみで、勝手口があるが、鍵をなくすため出入りをせず、玄関を中心とする。鍵は本人のカバンに紐でくつつけており、紛失することもある。  
デイサービスは火曜日週一回で、お迎えを10時から10時半とした入浴は無し、食事は朝で当たったことがあり、朝だけNG、青魚は問題なし。主食は100gラム、豚肉は普通。サービスでの入浴はできないが、個別機能を行う予定。拒否したら入らなくて良い。

このケアプランを現行プランとすると、ケアプランに記入する  
介護保険 証と負担割合証、薬情報を返却する  
介護保険 証を確認  
このケアプランを現行プランとすると、ケアプランに記入する  
あすなろ会の支払いに来所。  
あんしん村の話は都度してあり、ショートステイや5様に会いに行こうと声かけをしているが、すまない様子。  
10:00 NS対応にて、義歯が痛いと歯科<sup>受付</sup>希望あり。腫れはない。ドクターより抜歯をした傷口に義歯が当たるので、しばらくは痛みはあると説明あったが理解しておらず。使用の痛み止め薬を服用して様子を見る。

02

## kintone-AIでまとめ記録を作成

AIが自動的に要点を整理し、質の高い記録を生成

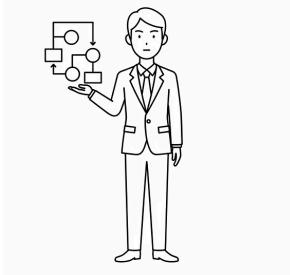
看取りの様子をサマリ  
102号室 □様 看取りの経過  
最終的な看取りの様子  
2025年10月29日、□様のご容態が急変されました。夜間より唸り声が続き、下肢の浮腫が顕著となりました。16時頃にはバイタルが低下し、脱力感が強くなり反応も鈍くなりました。看護師から次男様へ連絡し、予定より早めに面会を勧められました。17時半に次男様ご夫婦が訪室され、18時20分には長男様も到着されました。  
1時45分、呼吸が停止し、息子様にもお伝えしました。嶋田病院へ呼吸停止の連絡を行い、長男様らへの連絡は次男様から行わされました。5時15分、主治医が来所され死亡確認がされました。葬儀社への連絡は息子様が行わ�、9時以降に搬出となりました[48430]。  
看取り前の経過

まとめ  
コンテキスト情報まとめ  
1. 全体構成  
記録は大きく 3つのケーススタディ で構成されています。  
2. ケース①：有料老人ホーム入居支援（木村様ケース）  
対象者：木村 誠様（55歳・長男）と母・芳子様（82歳・要介護2・認知症）[21]  
担当：生活相談員・高橋（主任ケアマネジャー）[21]  
プロセス概要（全10段階）  
1. 初回問い合わせ：火の不始末で限界、焦燥感が強い[21]  
2. 初回面談：芳子様は施設拒絶、元教師でプライド高い。書道の特技を発見[22]  
3. 体験入居提案：「書道展の特別ゲスト」として招待し心理的ハードルを下げる[23]  
4. 体験入居・申込書類提出・料金支払

毎月30分かかっていた報告書1本が5分に、  
ケアマネージャの記録も削減率90%、現場より「もう手放せない」

# おすすめしたい方は

この電話DXは、中小企業でがんばる方々に特におすすめです！



本業に集中したい方  
電話DXや生成AI・プロンプト  
に時間を取られず、本業に専  
念したい方



顧客・患者記録を分析  
したい方  
土業や営業の方々、学校や介  
護事業所で記録活用を分析し



月額が高いと嘆く方  
コストパフォーマンスに優れ  
た導入を実現



アプリ乱立  
要約アプリや生成AIが多く、  
手間が多いと困っている方

さらにより良いサービスを提供したい、御社へ。

# 導入が不安なあなたも安心

初期投資が必要なため、導入が不安な方々もいるだろう。そのため、充実したサポート体制を整えている。



2週間の体験と  
対面によるサポート  
門さんによる丁寧なサポートで安心  
してスタートやプロンプト調整



補助金などの紹介  
各種補助金を紹介、導入費用の負担  
を軽減



kintoneアプリ構築支援  
弊社による専門的な構築サポート

**実際の要約内容、料金や、スピードや実力を  
ベースでご説明します！ぜひお越し下さい。**

# このプレゼンを要約すると・・・

テーマ 介護現場における電話DXとキントーンを活用した業務効率化・営業戦略「どこでもいえ電K」の紹介

内容 「どこでもいえ電K」は、ネットワークレボリューションが開発した自社開発プラットフォームで、電話やアプリ、自動予約機能を持ち、パソコン1台で完結し、会社の固定電話にも組み込み可能な画期的なシステムです。名称は「介護のK」と「キントーンのK」に由来しています。

導入のきっかけは補助金でしたが、中止後もブログや他業種からの評価を得て事業を継続・拡大しています。介護現場では、アプリの電話機能を利用した予約、申し送り、会議、担当者会議、面談など多岐にわたり活用されており、外出先での利用も可能です。

特にキントーンやAIとの連携により、報告書や会議録作成の業務を50%から70%削減することに成功し、残業ゼロや定時退社、新卒採用にも貢献しています。他社DXソリューションが高額であったり、プロンプト調整に手間がかかったり、固定電話に組み込めないといった課題がある中、「どこでもいえ電K」は固定料金制でこれらの問題を解決します。

キントーンのハイライトプラグインやAI活用により、質の高い記録作成と報告書作成の手間を激減させ、「攻めの営業」を実現します。本業に集中したい、顧客・患者記録を分析したい、月額費用が高いと悩む、アプリ乱立に困っている中小企業の方々を主な対象としています。導入に際しては、2週間の体験、対面でのプロンプト調整、補助金紹介、キントーンアプリ構築などの手厚いサポートを提供し、事業の加速を支援します。

結論 「どこでもいえ電K」は、介護現場のDX化を推進し、電話業務や記録作成の効率を大幅に向上させる革新的なツールです。キントーンやAIとの連携により、業務削減率70%を達成し、残業ゼロや定時退社に貢献します。また、固定電話への組み込みや固定料金制により、現場の課題を解決し、中小企業の「攻めの営業」と事業加速を強力に支援します。

## 課題

- ・ 介護現場における電話の多さやアナログな環境。
- ・ 介護職員のITリテラシーの低さ。
- ・ 生成AI活用における手間や、一部の人しか使えない属人化の問題。
- ・ 他社DXソリューションの高額な導入費用、プロンプト調整の手間、固定電話との連携不可。